

旧永山武四郎邸及び旧三菱鉱業寮設計活用等検討委員会設置要綱

(目的)

第1条 旧永山武四郎邸及び旧三菱鉱業寮の保存修理工事及び活用整備工事を行うにあたり、耐震補強を含む保存修理に係る設計及び具体的な活用方法の策定等について専門的な立場からの意見を聴くため、旧永山武四郎邸及び旧三菱鉱業寮設計活用等検討委員会（以下「委員会」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 委員会は、次の事項について、出席者が意見交換を行うものとする。

- (1) 旧永山武四郎邸及び旧三菱鉱業寮の保存修理に係る設計に関する事項
- (2) 旧永山武四郎邸及び旧三菱鉱業寮の具体的な活用方法の策定に関する事項
- (3) その他、旧永山武四郎邸及び旧三菱鉱業寮の保存活用事業に必要な事項

(構成)

第3条 委員会の委員は、内部委員（札幌市職員）1名、外部委員（札幌市職員以外の者）4名とし、市長が委嘱するものとする。

(設置期間)

第4条 委員会の設置期間は、委員会を設置した日から平成29年3月31日までとする。

(座長等)

第5条 委員会には、委員長及び副委員長を置くものとする。

- 2 委員長及び副委員長は、委員の互選により定める。
- 3 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。
- 4 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故があるときにはその職務を代理する。

(会議)

第6条 委員会は、観光文化局長が必要に応じて招集する。

(庶務)

第7条 委員会の庶務は、観光文化局文化部文化財課において処理する。

(その他)

第8条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、観光文化局長が別に定める。

附 則

この要綱は、平成27年4月10日から施行する。

旧永山武四郎邸及び旧三菱鉱業寮設計活用等検討委員会委員

(外部委員五十音順)

氏名	分野	所属等
池ノ上 真一	歴史的建造物活用	北海道教育大学函館校 講師
小澤 丈夫	建築都市空間デザイン	北海道大学大学院工学研究院 准教授
角 幸博	文化財建造物	北海道大学名誉教授
平井 卓郎	木造建築構造	北海道大学名誉教授

(内部委員)

氏名	分野	所属等
川上 佳津仁		札幌市観光文化局文化部長